

なかとんべつ 町議会だより

Volume

166

平成22年1月25日発行



華やかな着物と二十歳の笑顔に吹雪も退散

医師給与条例改正で待遇改善
国の地域活力基盤創造交付金でスクロールバス購入

| | |
|-------------------------|----|
| 第4回定例会議決結果・第7回臨時会 | 3 |
| 私たちの一般質問 | 4 |
| 可決された議案 | 9 |
| 常任委員会だより | 10 |
| 議員だより～私の思い～ | 11 |
| ありがとうファイターズ・議会の動き | 12 |

発行 中頓別町議会
編集 議会広報編集特別委員会
お問合せ／北海道枝幸郡中頓別町字中頓別172番地6
tel (01634) 6-2244 (直通) / fax 6-1155

医師給与に俸給表導入！ 定期昇給と医務手当等で待遇改善



第4回 定例会

町民生活アンケートによる予算編成の必要性
天北厚生園の移転改築計画、地デジ放送への対応
遊休町有財産の処分方針など、4議員が一般質問

平成21年第4回定例会が、12月13日から15日まで3日間の会期で開かれました。

サンデー議会となった初日冒頭の行政報告で野邑町長は、特定外来生物であるアライグマが、昨年5月以降、上頓別、松音知周磨地区で捕獲されていることを報告。家畜等への直接被害は発生していないものの、農家の配合飼料を狙って出沒していることから、引き続き駆除を行う方針を明らかにしました。

一般質問では、4名の議員が事業仕分けや町立歯科診療所の改築、職員採用、医師給与の引き上げと財政健全化などについて、町長の所見を質しました。

一般質問の様子は、役場ロビーと町民センターに配信され、延べ20名の町民がテレビの前で論戦に耳を傾けました。

翌14日は、町長から提案された8議案を審議。固定資産評価審査委員会委員一名の任期満了に伴う選任同意をはじめ、国の地域活力基盤創造交付金18,025千円を財源にしたスクールバス購入事業や観光看板整備事業、生活交通路線バス購入事業などの一般会計補正予算案ほか、3会計補正予算案を全会一致で可決。

国保病院医師の月額給与等と医務手当を来年4月から引き上げる条例案は賛否をめぐり討論が行われ、採決の結果、賛成多数で可決されました。

審議が順調に進んだため、第4回定例会は、会期を一日残して閉会しました。

第4回定例会で 決まりました



議決結果の一覧

- 同意第1号 固定資産評価審査委員会委員の選任同意
- 議案第1号 南宗谷地区介護認定審査会共同設置規約の変更
- 議案第5号 北海道市町村備荒資金組合を組織する市町村の数の増減
- 議案第6号 北海道後期高齢者医療広域連合を組織する市町村の数の増減
- 議案第2号 平成21年度中頓別町一般会計補正予算
- 議案第3号 平成21年度中頓別町国民健康保険事業特別会計補正予算
- 議案第4号 平成21年度中頓別町国民健康保険病院事業会計補正予算
- 議案第9号 平成21年度中頓別町自動車学校事業特別会計補正予算
- 議案第7号 中頓別町国民健康保険病院の医師の給与に関する条例（一部改正）
- 議案第8号 職員の特務勤務手当に関する条例（一部改正）



第7回臨時会で 改正職員給与条例成立！

第4回定例会に先立ち第7回臨時会が平成21年11月25日に招集され、職員給与条例の一部改正条例が成立しました。

この改正は、今年度の人事院勧告に伴い、若年層を除く俸給月額の下げ、期末勤勉手当0.35月分の削減が主なものです。

そのほかには、平成19年度に引き上げが見送られた扶養手当（500円）の復元のほか、人事院勧告では廃止となった住宅手当は、持ち家促進の観点から継続されることになりました。

本町では、平成17年度から独自に勤勉手当1.4月分、管理職手当を21年度まで5年間にわたり削減する独自削減を実施してきました。今回は、この措置を平成22年度までさらに一年間延長するものの、財政健全化法による早期健全化団体から脱却する目途がついたため、勤勉手当を現行の0.05月から0.9月まで復元するものです。

この改正により国家公務員の期末勤勉手当支給総額4.15月に対し、本町職員は0.5月少ない3.65月となります。

改正条例案は、賛否の討論を経て、採決の結果、賛成多数で原案どおり可決されました。

石神議員に全国町村議会議長会表彰伝達

全国町村議会議長会（野村弘会長）は、平成21年11月11日、東京渋谷・NHKホールで、全国989町村議会の議長など、関係者約1700人が出席するなか、「全国町村議会議長会創立60周年記念第53回町村議会議長全国大会」を開催しました。大会ははじめに創立60周年記念特別表彰が行われ、町村議会議員として30年以上の在職者（353名）、全国町村議会議長会歴代会長（12名）、各都道府県町村議会議長会会長として4年以上の在職者（7名）のうち、それぞれの代表者5名に表彰状が授与されました。

本町からは、石神忠信議員（現議長）が、町村議会議員として30年以上在職し、地域社会の発展や住民福祉の向上に尽くしてきた功績が認められ、藤田副議長から表彰状の伝達を受けました。



ここが聞きたい、知りたい

私たちの一般質問

第4回定例会では、事業仕分けや町民アンケートによる予算編成の必要性、医師給与の引き上げと財政健全化問題など、4議員が一般質問を行いました。

公営住宅の修繕に力を！

本多夕紀江

問 高齢者住宅引戸に取っ手を！

①公営住宅の充足状況と新築、解体の予定を伺う。屋根等、状況のひどいところもあり、修繕に力を入れるべきではないか。財政が厳しいと聞くと修繕を頼みにくい。

②高齢者向け住宅で引戸が重く、引き手の溝が浅くて手がかかりづらく開けにくいところがある。役場の表、裏玄関のように取っ手をつけるべきではないか。

答 中原産業建設課参事

①町営住宅等の管理戸数は294戸。空家が53戸で入居者数は241戸。今年度の入居募集に対する申込みは多くはないので住宅の困窮度は低い。

今年度は12戸解体。来年度は空家の2棟8戸を解体の予定。退去して空家になったら順次解体していく。今後の建設計画はない。老朽化した住宅も多いが修繕要望はあがってくるものと思っており、話があればその都度修繕している。雨もり等のひどい所は来年度塗装も考えたい。

②今年度、あかね拡充団地の高齢者向け住宅の玄関引戸の戸車を取り替えて改善。重たかったが指一本で開くくらいになった。取っ手については、入居者からの要望がないので考えていない。

地上デジタル放送への備えは？

本多夕紀江

問 みんなが見られる地デジに

アナログ波一斉停止まで600日を切り、試験電波も出されて地デジ化が現実のものとなりつつある。

①難視聴区域、世帯の実態をどのようにとらえ、どう対処されるのか。全世帯にデジタル放送に関する正確な情報が伝わるよう努力すべきではないか。

②光ファイバー導入の可能性はあるか。

答 遠藤総務課長

①難視聴区域の調査にはNHKや総務省の専門的な調査が必要と考える。2010年に総務省が難視聴区域をあらかじめ想定し、18箇所を抽出して調査を行うのでその結果で実態が明らかになる。公共放送が基準なので、NHKが見られると難視に該当しない。NHKは調査済みで、ある程度把握しているが民放は把握していない。

デジタル化への移行準備として7月30日に説明会を行い、中頓別地区34人、小頓別で7人が参加した。チューナー購入などに関し、助成措置の情報などには要請に応じ個別にお知らせしたい。

情報はデジサポ（総務省テレビ受信者支援センター）等から流されており、成人には直接説明の必要はない。周知を旬報掲載や高齢者教室で行うことはやぶさかでない。今後も関係機関と連携して実態把握と難視対応に努めたい。

②光ケーブルの利便性はわかるが、億単位の事業費で利用者負担を考えるとかなり難しい。

歯科診療所の改修急ぐべき！

本多夕紀江

問 歯科診療所の改築計画はあるか

①築30年近くになるが、建替えの計画はあるか。ないとしたら玄関とトイレは改修が必要ではないか。トイレは狭くて段差があり危険。玄関に行き着く前に高さ20センチ以上の段差があり、冬は滑りやすく、ドアを開けるなり、坂になっている。どこで靴からスリッパに履き替えるのか。

②築30年で老朽化が著しいとの理由で医師住宅の建替えが行われたが、水道やトイレの凍結、結露、断熱等の心配はないか。気象条件の厳しい地域では、快適な住宅は欠かせない要件である。

町立歯科診療所の実情を町としてどう判断されるか伺う。

答 竹内保健福祉課長

①歯科診療所は築27年になるが、建替えの計画はない。平成19年にトイレに両用型便座を設置した。

玄関がスペース的には狭いことは間違いないが、健康な方であればスロープの途中で履きかえることもできるし、歩行に障害のある方はスロープを上った上でスリッパに履きかえるということも考えられる。

（診療所）職員から意向を聞いたが、別段現在の状況で問題はなく、利用者からの苦情も今のところないとの話であり、現在のところ現状のままとしたい。

②住宅改修は平成22年度予算措置に向け改修内容の検討をしている。

議会を傍聴しましょう

議会は、町民の暮らしに直結する税や福祉などの身近な問題を議論する大切な「しゃべり場」です。議会では、議会だよりで必要な情報の提供に努めていますが、町政の動きを定例会や各種委員会を実際に傍聴し、自らの目と耳で知ることが大切です。

次の定例会は、3月に招集されます。日程は、議会だより臨時号などでお知らせします。

多くの町民のみなさまの傍聴をお待ち申しあげております。



教員住宅等は朽ちる前に売却を！

町有資産の売り払い加速を！

星川 三喜男

問 空家は傷む前に売却・利用すべき

小頓別地区や中頓別市街の教員住宅など、現在町が抱えている遊休固定資産（空家住宅等）の現状と今後の活用計画を伺う。空家等の遊休資産に買い手がつかないのは、固定資産評価額を基本にした杓子定規な価格設定で高すぎるからではないか。住宅個々の状態や地域的な利便性、固定資産税による税収も考慮して、安く売却すべきである。あるいは、年々価値が減じる前に安く貸して利用させた方が、空家も傷まないと考えるが、どのような方針で臨むのか。

定住促進のモデル事業として町有財産である土地を無償提供している件について、議員にも知らされていないが、町長の所見を伺う。

答 中原産業建設課参事

現在の空家住宅等は、中頓別地区で職員住宅1戸、教員住宅3戸、黄金湯、小頓別地区教員住宅10戸である。中頓別地区の職員住宅は解体、教員住宅3戸は、活用を検討中である。黄金湯は売却又は賃貸、小頓別地区教員住宅は、新しいものは売却又は賃貸、老朽化したものは解体する方向である。地域性を考慮して、小頓別地区については、最低売却価格の相談にも応じるようになっている。

答 野邑町長

町の政策として定住人口の増加を図るため、3年前からおためし暮らし政策を進めている。今回、地元業者がモデル住宅を建てるにあたり、町有地（遊休地）を無償貸付した。議会に知らせていなかったのは情報提供不足であった。

町内医療機関の統合検討できないか！

星川 三喜男

問 医師給与の引き上げは財政健全化後に

医師給与の引き上げ条例案では、新たに俸給表が導入され、毎年、月給が4万円自動昇給し、医師二人で10年後には、給与が1千6百万円以上増える計算になる。前年度決算では、約1億8千万円が病院事業に繰出され、人口減が続く中、町民の血税による赤字補てんにも限度がある。院長から町長に要望書が出されたと聞くが、給与に満足しない職員からの要望に屈するとしたら、町の前途は危ういと思う。せめて、早期健全化団体からの脱却後か、医師養成費の全額返還後に検討すべきではないか。

本町にある民間診療所の医師を国保病院に迎え入れるなど、医療機関の統合や協力連携で収入を増やす手法は考えられないか。また、福祉政策と病院経営の両面から老人医療費の無料化、若い世代の定着のためこどもの医療費の無料化に取り組むべきではないか。

答 野邑町長

本町の医師給与水準は、近隣町村と比較すると大変低い。中長期行財政運営計画により、平成18年度から職員給与の削減を行ってきた結果、一定の方向性が見えた。現院長には4年8ヶ月の間、低い給料で重責を担ってもらった。財政健全化に見通しがついたので、待遇を改善してこれからも長く院長として勤めてもらいたい。今年度当初に8万円給料を上げたが、来年4月からさらにあげて、これまでの分を少しでも取り戻せるようにしたい。

民間診療所との協力連携については、院長の考え方を尊重したい。こどもの医療費無料化については、子育て、少子化対策として新年度に向けて検討したい。

わが町でも事業仕分けを！

東海林 繁 幸

問 町民を事業仕分け人！

民主党政権になって一番評価の高いのが事業仕分けである。結果論としては、科学や教育、福祉、医療の分野では事業仕分けにはなじまないのではないかという不評の声もあった。しかし、総体的には国民が初めて知り得たことも多々あり好評だった。地方自治体でも数年前から試みているところもあるが、町長は、事業仕分けの手法をどう評価しているのか伺う。

町長の立場では、長年続いている事業を自分の代で切ることも表明しにくいと思うが、ある事業はやめても新しい事業をやってほしいという住民の声を聞くような制度があってもよい。町民に事業仕分けをしてもらってはどうか。

答 野邑町長

事業仕分けについては、総論としては予算の無駄を洗い出して、透明性を高め、限られた予算を効果的に施策に振り向けていく点では、意義あるものと考えている。平成17年5月に町民15名に中長期行財政運営計画を策定してもらったことが、今の言葉で言うと仕分けなのかもしれない。早期健全化団体から平成22年度でクリアすることを目標にしているが、その時点で大きな見直しの転換期にくるのでないかと思う。今は時代のスピードが速いので、5年一昔と考え、指摘があったようなことも考えていきたい。

天北厚生園の移転改築先 旧中農高生徒寮に

東海林 繁 幸



問 天北厚生園移転改築のスケジュールは？

天北厚生園の移転改築計画について、第3回（9月）定例会での私の一般質問に対して消防法の規定による防火設備、スプリンクラー等の整備が必要となり、平成24年度以降の改築予定を23年中にするための検討委員会を立ち上げる準備を進めるとの答弁であった。そのためには平成22年度早々に施設の建設概要（場所、図面、財源内訳）が整い、計画書を提出する必要がある。検討委員会でのこれまでの検討内容と今後のスケジュールについて伺う。

また、検討委員会の中に法人の理事者やその他専門的な領域の人々が入っているのか。改築事業の主体は、法人であるが、理事長がよくわからないというような話であった。理事長と町長との協議がされているのか伺いたい。

答 竹内保健福祉課長

検討委員会は立ち上げていない。それにかわる組織として関係者が構成する打合せ会を立ち上げ、現在まで4回の打合と類似施設等の視察を行っている。

基本計画の作成に向け、施設整備内容の整理を進めている。平成22年6月に協議書等関係書類を提出しなければならぬので、同年5月までに道と提出関係書類の内容を協議し、社会福祉法人南宗合福祉会から提出される関係書類を道に進達することになる。

答 野邑町長

担当者から検討委員会のメンバーを示されたとき、打ち合わせ会議と同じような組織であり、無理に検討委員会としなくてもいいのではないかと指示した。保護者や法人関係者など、色々な人たちが入った規模の大きな検討委員会については、天北厚生園と十分協議をした中で考えていきたい。

法人の理事長とは、12月4日に会い協力要請を受けている。その際、旧中農高生徒寮を移転改築先にした場合の事業費や問題点について協議するなど、意思疎通を図っている。



臨時職員等の長期雇用は違法 慣習改善を！

柳澤雅宏

問 町職員の採用について

来年度、採用見込みの町職員の人数と選考経過を伺う。二次試験（面接）で民間の面接官が二人入っているが、その理由はなにか。職員採用が透明化されるように手続きを条例や規則で定めるべきではないか。

長年、嘱託職員として勤務している方の身分は、地方公務員法上どのように位置付けられるのか。臨時的任用職なら一年を超えて雇用することはできないが、長期の嘱託、臨時的雇用が常態化している。適正、適法ではないと考えるが所見を伺う。

答 遠藤総務課長

本年度の宗谷町村会の一次試験合格者31名のうち、4名が本町での採用を希望し、二次試験（面接）を経て2名を採用内定者とした。面接官は、行政側2名（教育長、総務課長）、民間人2名である。選考にあたっては、採用後の窓口対応、住民とのコミュニケーションの必要性を考慮し人柄を重視した。面接に關しての根拠、基準はない。

答 野邑町長

面接官に民間人を採用したのは、民間の視点、ノウハウを導入するためである。職員採用にあたっての手続き条例、規則の整備は今後検討したい。嘱託職員は、地方公務員法第22条違反であり、地方自治法上の非常勤の職員ではないことも認識している。臨時職員については、人件費の増を抑えながら、住民サービスを下げないようコンプライアンスを要綱に基づき、身分等を位置付けている。

嘱託職員については、正職員に近づけてあげたい気持ちがあり、今後、このような任用はしない。

予算編成に民意反映させて

柳澤雅宏

問 町民生活アンケートによる予算編成を

毎年、次年度予算編成前に「町長がおじやまします」を実施しているが、参加者が少数であり、メンバーも固定化され町民の幅広い意見が町政に反映される懇談会にはなっていない。

景気の低迷で生活苦にあえぐ町民や自己負担の大きさから医療機関を受診できないお年寄りも増えている。例えば、幼児医療費の無料化など、町民がいま一番行政に望むものは何か、限られた予算を効果的に振り向けるための新たなしくみとして、「町民生活アンケート」（仮称）を実施し、その結果や傾向をもとに予算編成に取り組みべきではないか。

答 野邑町長

現在は、一年でも早く町の財政を立て直し、早期健全化団体からの脱却を目指す時期である。

アンケートのやり方も色々な方法があるが、町民が過度な期待を抱かないようにしなければならぬ。それぞれの課の来年度予算原案が提出済みであり、間に合うかどうかは別として検討してみたい。

ホームページで議事録などを公開しています

中頓別町のホームページ（<http://www.town.nakatombetsu.hokkaido.jp>）で議会だより、定例会の議事録などを公開しています。町ホームページから（町の概要）→（中頓別町議会）へ進みご覧ください。議会はみなさんの暮らし、福祉などの身近な問題を議論する大切な会議です。議会日程や傍聴の手続き、請願・陳情などのお問合せは、Tel 6-2244（議会事務局）へ。

議案のあらまし

○ 同意第1号 固定資産評価審査委員会委員の選任同意

任期満了を迎えた固定資産評価審査委員会委員・坂本登毬美さん(字小頓別・73歳)の再任に同意。

○ 議案第1号 南宗谷地区介護認定審査会共同設置規約の変更

浜頓別町、枝幸町、中頓別町で共同設置する介護認定審査会の執務場所を浜頓別町から枝幸町に移す規約変更です。

○ 議案第5号 北海道市町村備荒資金組合を組織する市町村の数の増減

○ 議案第6号 北海道後期高齢者医療広域連合を組織する市町村の数の増減

平成21年10月5日から、紋別郡上湧別町及び湧別町が合併により湧別町になったことから、備荒資金組合及び広域連合を組織する市町村の数が増減するため、構成議会の議決を求めたものです。

○ 議案第2号 平成21年度中頓別町一般会計補正予算

国の地域活力基盤創造交付金18,025千円を財源にしたスクールバス購入事業3,700千円や観光看板整備事業1,600千円、生活交通路線バス購入事業19,052千円など、歳入歳出にそれぞれ37,810千円を追加する補正予算です。一般会計の総額は32億53,764千円になりました。

○ 議案第3号 平成21年度中頓別町国民健康保険事業特別会計補正予算

保険給付費の伸びに応じ、療養給付費及び高額療養費38,000千円を補正。歳入歳出それぞれの総額は、3億51,747千円になりました。

○ 議案第3号 平成21年度中頓別町国民健康保険事業特別会計補正予算

保険給付費の伸びに応じ、療養給付費及び高額療養費38,000千円を補正。歳入歳出それぞれの総額は、3億51,747千円になりました。

○ 議案第4号 平成21年度中頓別町国民健康保険病院事業会計補正予算

収益的収支のうち、医業費用の委託料から旅費交通費に750千円を振り替えたもので、支出総額は4億66,856千円のまま変わりません。

○ 議案第9号 平成21年度中頓別町自動車学校事業特別会計補正予算

職員手当及び共済費156千円を補正し、歳入歳出の総額は33,570千円になりました。

○ 議案第7号 中頓別町国民健康保険病院の医師の給与に関する条例(一部改正)

○ 議案第8号 職員の特殊勤務手当に関する条例(一部改正)

平成22年度から医師の給与に俸給表(給料表)を導入し、勤続年数に応じた給与(月額毎年4万円の定期昇給)と役職手当(月額院長10万円、副院長8万円、医長6万円)の創設、現行の医務(特殊勤務)手当月額60万円以内を100万円以内とする条例改正です。



町職員も同行した「地域ふれあい子どもキャンプ事業」
離島風景(昨年7月利尻富士町で実施)

出張旅費返還し 補助要綱見直しを!

柳澤雅宏

問 一流の、中頓別づくり推進事業について

住民が自主的に行うべき補助事業である「一流の、中頓別づくり推進事業」について、定期監査が行われ、「地域ふれあい子どもキャンプ事業」で6項目の指摘事項が示された。

実行委員会メンバーの不参加のほか、職員の公務出張扱いによる同行、事業実績報告書を町職員自ら作成していたことなど、補助事業としての適格性を指摘されている。町職員の出張旅費等は返還させるべきではないか。

また、補助要綱を見直すべきと思うが、町長はこの事業に対しどのような根拠で補助決定したのか伺う。

答 野邑町長

実施要綱で規定している事業審査委員会からの進言により補助金の交付を認めてしまった。監査委員の指摘の後、担当課長に調査を命じてある。

答 小林まちづくり推進課長

補助金の使い方に問題があったのは認識している。経過と事実関係はまとめており、後日、町長、教育長に報告したい。補助金返還について、補助要綱と照らして全く問題がないとはいえないが、職員の公務派遣は適当と考えている。実行委員会は、町から働きかけて組織してもらったものであり、参加者の負担軽減の受け皿として補助金を使ってしまった。補助事業(要綱)については、見直しを図りたい。

いきいきふるさと 常任委員会だより



委員会であかね1条・2条通り線改良舗装工事を視察

自治基本条例は住民を幸せにする手段 鍾乳洞はジオパーク（地質公園）めざせ！

めざすべき運営理念、長期的なビジョンの確立が急務である。

■鍾乳洞の活用について

地質学的に貴重な鍾乳洞や尻無川周辺の砂金地層、その採取跡を組み合わせたジオパーク（地質公園）登録により、単なる「洞窟観光」から脱却できる可能性がある。

また、稀少な動植物群の宝庫を保護・保全するための管理体制の強化も必要である。有料化は早期に実現すべきであるが、管理棟や散策路の魅力化を図り、利用者が納得する水準のサービスを提供することが前提である。

■環境基本計画等について

環境基本条例は、第1回定例会で制定され、その後第3回定例会において町長提案により一部改正がなされた町の基幹条例である。

条例施行にあわせ、本町の環境施策は着実に実施すべきであるが、その青写真となる基本計画の策定は手つかずのままである。

本町の環境政策が有名無実化することは誠に遺憾であり、早急に

実効性ある基本計画を策定するため、所管事務の見直し、再編も検討されたい。

■国保病院の運営について

医師の給与設定では、地方公営企業としての病院経営の状況、採用時の年齢・前歴等、様々な要因を総合的に勘案しなければならず、予算の範囲内における手当て総額調整を図る手法が弾力的であり、町長の指揮監督権も発揮しやすくなる。

本町は、早期健全化団体として財政健全化の途上であり、今後の人口減少も視野に入れ、適正な給与水準の実現のため不断の努力を重ねるべきである。

■自治基本条例等について

自治基本条例は、策定委員会から答申書が提出された。この後、行政（町長）の素案として全戸配布され、意見公募が行われる。

自治基本条例は、住民を幸せにする「手段」であり、まちをつくる「道具」である。

自治やまちづくりのしくみを備

えた条例は、制定過程、制定後においても、その働きと使い方を説く不断の努力が求められる。

住民の隅々まで浸透させることには時間がかかるが、最高規範への関心を高める手法は数多考えられる。多くの住民から意見を注入された条例は、強くたくましく誕生するはずであり、陣痛期の論議に耐え、行政としての提案責任を全うされたい。

次の所管事務調査

いきいきふるさと常任委員会は、第1回（3月）定例会までに、次の事項の調査を行います。

- ①自治基本条例、②環境基本計画、③こども館の運営、④天北厚生園の改築、⑤総合計画（来年度実施事業）、⑥地域活性化経済危機対策事業及び地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業（「ピンネシリ道の駅改修事業」及び「安心安全な学校給食施設整備事業」工事視察）、⑦財政健全化計画、⑧所管事務のうち緊急を要する事項

いきいきふるさと常任委員会では、閉会中にそうや自然学校の運営、鍾乳洞の活用、環境基本計画等、国保病院の運営、自治基本条例等について調査を行い、次のように意見を取りまとめました。

■**そうや自然学校の運営について**
そうや自然学校の今年度（4月～11月中旬まで）の利用者総数は1054名。平成22年度は、利用者2500名をめぐしているが、収支予想は、支出約2百万円に対し、収入は約90万円であり、現段階で倍以上の開きが生じている。また、平成23年度以降の人的手当の見通しが示されないなど、将来に不安があり、今後の集客の軸足、



中小創立100周年祝賀会で旧交をあたためる全国各地から参加した同窓生たち

議員だより

～私の思い～

このコーナーでは、それぞれの議員が町づくりや議会活動などについて思いを綴ります。

毎号2名の議員がこのコーナーに登場します。8議員の提言・苦言・呟きにご期待を！

元気もらいました

中頓別小学校の創立100周年記念事業並びに式典には、町民の皆さんや町内外の同窓生の皆さんのご協力や多大なご支援を頂き、盛大に開催することが出来、紙面をお借りして感謝とお礼を申しあげます。ありがとうございました。

さて、先日議会があり、休憩中にロビーに出て掲示板を見ていたところ、中小だよりに「社会を明るくする運動、作文コンテスト見事入選」の見出しがあり、上川、留萌、宗谷から小学生252作品の応募がある中、中頓別小学校6年生の日詰彩夏さんの作品が見事入選されたと書かれておりました。

入賞作品の紹介があり、目をやると、「あいさつは大切」と題して、中小で取り組んだ『あいさつ運動キャンペーン』の体験談を語っておりました。

一部分を紹介すると、『私は、社会を明るくするためには、あいさつが必要だと思います。なぜかという、あいさつをすると、みんなの心が明るく、温かくなるからです…』

そして、キャンペーン中の取り組みで、なかなか思うようにいかないもどかしさや、あいさつが返ってきた時のうれしさ等が目映るよう表現されていて、読んでいるうちにとても感動しました。

町連Pが提唱して『あいさつ子育て運動』を全町的な取り組みとして始めたのが20年前、今、子供たちが自主的に取り組んでいる様子が目に触れ、すごくうれしいです。

「人と人を結びつけ、心と心がふれあうあいさつは、社会を明るくする」と訴えている。

子供たち頑張れ！子供たちに負けないように大人も頑張らなきゃ！

(綴人：村山義明)

それぞれの安心、安全

この町のよいところと問えば、多くの人は豊かな自然と答えます。

この町がそんなに豊かな自然と言えましょか。この町の自然程度であれば、北海道の全市町村、東北、四国、九州いや全国に豊かな自然を誇る市町村が沢山あります。

私は良い町とは、生活感の中で本当に住んで安心安全を実感するところだと思います。

三年前、全国的に連続して発生した児童の虐殺事件、それも田舎や郊外で発生したことに危機感をもち、年寄り仲間が集い「こども安全パトロール隊」が勝手に発足し、主に小学校の下校時にパトロールをはじめ4年目を迎えました。

こどもたちと会うと「こんにちは」「僕たちのために有難う」の声が返ってきます。

今では、「ご苦労様」と父母や地域の皆さんからも声がかかります。中頓別の犯罪が激減したことも事実で防犯関係の皆さんも評価してくれました。(ささやかな活動がこの町の安全につながりました。)

町のイベントには必ず交通指導員の皆さんの活動がみられます。たいした人出でなくても制服姿が頼もしく安全安心を感じる人も多いでしょう。

消防、警察の皆さんの活動も同様であります。

高齢者、障害者にとって、ディサービス、ヘルスサービスの充実、老人福祉施設がこの小さな町にあることも大きな安心です。ディサービスで会話を楽しみ、手芸に没頭する、介助されながら入浴を楽しむ、これも安心安全を感じます。

病院の存在は住民にとって大きな生活基盤です。病院があること、そこに医療スタッフがいることや雪の中訪問してくれる保健師さん、必ず入れる保育園、除雪に励む人々、それぞれの年齢立場で強く感じる意識の違いはありますが、この辺の町では、わが町の安心安全は最高と思うのです。

(綴人：東海林繁幸)

※次回は、星川議員、柳澤議員です。



札幌ドームの巨大スクリーンで紹介される藤田さん



ありがとうファイターズ！

日ハムから赤い羽根共同募金

北海道日本ハムファイターズは、プロ野球を通じた社会貢献活動の一環として、昨シーズン、社会福祉法人北海道共同募金会の活動である「赤い羽根共同募金」への協力を宣言。梨田監督、稲葉選手（中央）、田中選手（右）がイメージキャラクターとなり、道民に向け募金活動と呼びかけてきました。

梨田監督はチーム勝利数（82勝）、稲葉、田中両選手はヒット数（313本）に千円を乗じた金額を寄附。球団からの募金も加えた60万円あまりが道内市町村の福祉のまちづくりに役立てられることになりました。

募金の授与式は、昨年11月21日、ファンフェスティバルで賑わう札幌ドームで行われ、「赤い羽根」活動に参加してきた少年、少女の代表にリーグ覇者からの善意が手渡されました。

代表の一人は、藤田明梨（あかり）さん（中・中2年生）で、田中選手から募金を受け取る姿がドームの巨大スクリーンに映し出されると観衆から大きな拍手が送られました。

明梨さんは、「大観衆の中ですごく緊張したが、田中選手から励ましを受けてうれしかった」と無事大役を果たしほっとした様子でした。

編集後記

新年を迎え心新たに議会の情報をできるだけ判りやすく皆様にお伝えすべく努力をいたします。

昨年は開拓百年の歴史的に意義のある大きな節目の年でした。

百年の歴史を永いと感じるか、浅いと感じるかはそれぞれに違いはありますが、私はやっと百年かとの感慨があります。

開拓29年目にこの町に生まれ育った者として、この町を見ると、戦前、戦中、戦後の流れは一瞬の出来事のようにです。

終戦の年、昭和20年は、開拓35年でもあります。

この町が民的に発展した時間的経過は、貧しくてもがんばった昭和20年から昭和60年の約40年間と思うのです。

その後は、企業と人口の減少で衰退の一途でした。

しかし、衰退の中にも住民のしあわせ感の向上に行政は努めたと思います。

百年の歴史を経て、衰退の延長とするか、それを阻み羅針盤を好転へ針を向けさせるのは、やはり私達住民の意識だと思います。

議会広報編集特別委員会(東)

議会の動き

21年10月

26日 議会広報編集特別委員会

11月

5日 平成21年度天北線代替輸送連絡調整協議会臨時総会（浜頓別町）

7日 天北厚生園「ふれあいフェスタ2009」

10日 松木謙公衆議院議員との意見交換会及び武部勤衆議院議員との懇談会（東京都）

11日 全国町村議会議長会創立60周年記念第53回町村議会議長全国大会・第34回豪雪地帯町村議会議長全国大会（東京都）

16日 議会運営委員会

いきいきふるさと常任委員会

25日 第7回臨時会

いきいきふるさと常任委員会

27日 定住自立圏に関する講演会（稚内市）

12月

4日 議会運営委員会

13日 第4回定例会（サンデー議会）

議会運営委員会

議会広報編集特別委員会

14日 第4回定例会（再開）

22日 いきいきふるさと常任委員会

22年1月

14日 いきいきふるさと常任委員会

議会広報編集特別委員会